

30%Club 用レポート

30% Club Japan 『TOPIX 社長会』第2回トップ会議をオンラインで開催しました

5月25日、30% Club Japanに参加する17社のトップ(*1)がオンライン上に集結し、日本企業において女性のタレントパイプラインを盤石化し経営参画を加速するためのアクションについて議論を展開した。

当初は、前回同様 face to face で実施する予定であったことから、コロナ禍であることを踏まえ延期も検討したが、「コロナ後のビジネス環境はこれまでの延長ではない」ということをトップ自らが実践すること、また『TOPIX 社長会』としての取組みは前回から間をあけることなく進めていきたいという強い思いから、オンラインでの開催となった。

30% Club Japan 『TOPIX 社長会』は、30% Club Japan メンバーである会長・社長による「トップ会議」と、女性活躍に関する実務推進責任者である各社の担当役員・責任者による「実務者協議会 (PM チーム)」で構成。実務推進責任者が加わることで、会全体としては男女 50:50 の参加者による議論と活動が展開されている。

今回トップ会議に向けて、PM チームはほぼすべての準備をオンラインで展開。海外事業所や各社への実態調査、成案化に向けた議論など、時に各国の女性首脳陣のコロナ禍の対応に刺激を受けながら、慣れない環境下にしなやかに適応しつつ熱心に準備を進めた。

会議は30% Club Japan の魚谷会長（資生堂 代表取締役社長兼 CEO）によるウェルカムスピーチからスタート。初参加メンバーから今後の取組みに対する強いコミットメントが発信された後、PM チームを代表し、大和証券グループ本社の白川常務執行役員から、前回のトップ会議で出された2つの課題（『女性活躍を阻むインサイトのグローバル視点での検証』と『平等性がベースであるメンバーシップ型の日本企業における、女性タレントパイプラインの現状把握』）について、調査・分析結果を共有した。その後、同じく PM メンバーである味の素の野坂取締役から、日本企業における女性のキャリア成長を促す要諦とキャリアのターニングポイントに合わせたアクションプランについて提案した。

[PM チームからの主な提案内容]

- 入社後：若手女子社員のロケットスタートのサポート（若手女性社員と PM チームを中心とした各社リーダー層との交流会などを実施。女性リーダーの実体験に触れながら、この先にあるライフィベント含む様々な困難を乗り越えるマインドと具体的な方策（武器）を早い段階で得る。）

- 出産・育児期：マミートラックを乗り越えるため、育児期の部下を持つ管理職と育児期社員への「両立マネジメント」実践訓練（制度という一律支援から、裁量のある柔軟なワークスタイルの選択により、“個別”事情と組織事情を踏まえた“ジャストフィット”な配慮を実行する。）
- 管理職チャレンジ期：女性の管理職登用に対してトップ自身によるこの先 10 年間を見据えたポジティブアクションの実践（社長と女性幹部候補者の交流会を実施し、登用へのチャレンジを後押しする）

トップ間のディスカッションでは、PM チームから提示されたアクションプランへの賛同と応援の声が多数寄せられた。また、トップ自らがタレントパイプライン盤石化へコミットすることの必要性等が唱えられた。主な発言は以下のとおり。

- 自社の状況を調べてみたところ、業務の領域によっては男性の「優先席」や女性の「指定席」となるポストが顕在していた。部門別できちんとしたロードマップをトップ自らコミットしたい。
- アクションプランにある 30% Club Japan メンバー企業間の交流会には大賛成。意見交換し刺激を受け、一人一人のアクションにつなげることが大事。女性でも様々なバックグラウンドがあり、自社の状況に照らして D&I の目指す姿を実現することが重要だと感じている。
- 女性の管理職を増やすには、女性の母集団を増やすことが必要。「採用から考える」という長期的な視点と実行も重要。男性は大器晩成だから、、、といった思い込みが採用時点でも作用している懸念がある。
- 上長はもちろん、女性本人の意識改革をどう進めるかもポイント。コロナ禍で拡がったテレワークは後押しになるだろう。
- 「働き方改革」は方法論であって、「働き甲斐改革」が大事なのでは。自社では、将来を背負って立つ若手女性社員にはハードルの高い業務を任せ、それに合わせて社長自らメンターになり直接指導するようにしている。ここまでしないとビハインドな状況下に置かれた女性を内部から登用することは難しいと考える。

ディスカッションの最後に魚谷会長からまとめがあったように、今後は、今回の内容を受け、PM チーム間で連携しながら、各社が 2030 年までの行動計画を策定し、トップ会議にて取組み状況やベストプラクティスを共有していくとともに協働でアクションプランを実行していく。次回のトップ会議は 11 月を予定している。

(*1) 第 2 回 30% Club Japan 『TOPIX 社長会』参加メンバー（50 音順）

- 味の素(株) 取締役社長 最高経営責任者 西井 孝明
- アステラス製薬(株) 代表取締役会長 畑中 好彦

- ANA ホールディングス(株) 代表取締役社長 片野坂 真哉
- 花王(株) 代表取締役 社長執行役員 澤田 道隆
- キリンホールディングス(株) 代表取締役社長 磯崎 功典
- (株)資生堂 代表取締役 社長 兼 CEO 魚谷 雅彦
- (株)新生銀行 代表取締役社長 工藤 英之
- 第一生命ホールディングス(株) 代表取締役社長 稲垣 精二
- (株)大和証券グループ本社 取締役会長 日比野 隆司
- (株)テレビ朝日 代表取締役社長・COO 亀山 慶二
- (株)電通グループ 代表取締役 社長執行役員 山本 敏博
- 東京海上ホールディングス(株) 取締役社長 グループCEO 小宮 曉
- (株)日立製作所 代表執行役 執行役社長兼CEO 兼取締役 東原 敏昭
- ユニ・チャーム(株) 代表取締役社長 執行役員 高原 豪久
- ライオン(株) 代表取締役 会長 濱 逸夫
- (株)りそなホールディングス 取締役会長 東 和浩
- (株)ローソン 代表取締役 社長兼CEO 竹増 貞信